

55周年実行委員会

実行委員長 前田 健吾
総括幹事 久田 侑司
副実行委員長 名村 孝史

《基本方針》

「新日本の再建は我々青年の仕事である。」1949年、戦後の日本において青年会議所運動の幕が開き、その運動は我々の住み暮らすこのMAK地域にも波及され、日本で439番目に三国・芦原・金津青年会議所が誕生しました。以来54年にわたり受け継がれてきた、「世の中にありがとうと言われるLOMを目指す」というこの高い志と情熱を我々現役メンバーが引き継ぎ、未来へと継承しながら、地域を明るい豊かな社会に導いていく必要と義務があります。

まずは、これまでの諸先輩方が繋ぎ発展を続けてくださった歴史に、深い尊敬と感謝の気持ちを持ち、次の60周年へとバトンを繋ぐために、これからの未来を創る責任世代として、高い志を受け継ぎ自覚をもって考動し、目的をもって未来へ進む組織づくりの一助を担います。そして、青年会議所としての存在意義を地域で確立するために、55周年記念式典を開催し、MAK・JCのこれまでの歩みと新アクションプランを広く発信できる式典となるように式典の設営と運営を行います。さらに、式典を通して関わる人たちの意識を変革し、ポジティブな市民を多く生み出すために、連携するパートナーや地域全体を巻き込むことができるような記念リーフレットの作成を行い、情報発信に尽力します。また、連携する諸団体やMAK地域全体に敬意を払い、更なるJC運動を展開していくために、諸団体や地域の皆様と強固な関係を築くことができるよう、55周年記念交流会を盛大に開催し、共に未来を明るく照らし続ける灯となる決意を固めます。

「成長の種を蒔こう」という理事長スローガンのもと全メンバーが一丸となり絆を強め、MAK地域こそが今後の主役であり、自分たちが輝ける未来と明るい豊かな社会の実現に向け、新生MAK・JCの種が芽吹く未来を実現します。

《運営方針》

1. 60周年に向けて新アクションプランの作成を行います。
2. 55周年式典の設営、運営を行います。
3. 55周年交流会の設営、運営を行います。

《事業計画》

1. 60周年に向けてのアクションプランの作成
2. 55周年記念式典の開催
3. 55周年記念交流会の開催

《事業予算》

1. 55周年記念式典の開催	300,000円
2. 記念リーフレットの作成	300,000円
合 計	600,000円